

【参考】

麻疹(はしか)について

1 症状

- ・ 感染すると約 10 日後に発熱、咳、鼻汁、くしゃみ、結膜充血などの症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39 度以上の高熱と発疹が出現します。
- ・ 肺炎や中耳炎を合併しやすく、患者の 1000 人に1人の割合で、脳炎が発症するとされています。

2 感染経路

麻疹ウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いとされています。

免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続するとされています。

また、発症した人が周囲に感染させる期間(感染可能期間)は、症状が出現する1日前から解熱後3日間まで(全経過を通じて発症がみられなかった場合、発疹出現後5日間まで)とされています。

3 潜伏期間

約 10 日～12 日間

4 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。

5 予防方法

- ・ 麻疹は感染力が強く、空気感染もするので、手洗いやマスクのみでは予防できません。
- ・ 予防接種が最も有効な予防策です。麻疹風疹混合ワクチン(MR ワクチン)は予防接種法で定期予防接種の対象(第1期:1歳児、第2期:小学生就学前の1年間)とされています。対象となる方は、接種期間に適切に予防接種を受けましょう。
- ・ 急な全身性の発疹や発熱などの症状が現れたら、早めにかかりつけ医等を受診してください。
- ・ 学校等は集団発生を起こしやすい場であることから、定期接種を受けていない小学生、中学生、高校生、大学生等について接種勧奨を行ってください。
- ・ 職業上感染の拡大の影響のある、医療関係施設、保育施設、学校等においては、職員等の予防接種の必要性について検討してください。

6 麻疹の報告数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
鹿児島(件)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2 ^{※1}
全国(件)	165	186	279	744	10	6	6	28	45	261 ^{※2}

※1 鹿児島県:R7は速報値(令和7年12月25日時点)

※2 全国:R7は速報値(第50週時点)

7 留意事項

麻疹を疑う症状があった場合は、早めにかかりつけ医等を受診してください。医療機関を受診する際は、必ず受診前に医療機関に連絡し、麻疹を疑う旨を伝えた後、医療機関の指示に従い受診してください。

また、受診の際は、周囲に感染を拡げないように公共交通機関の利用は避けてください。